

岩手県知事 達増拓也 様

2018年1月12日  
日本共産党岩手県委員会  
委員長 菅原 則勝  
県議団 斉藤 信  
高田 一郎  
千田美津子

在沖縄駐留米軍機の事故続発に抗議し、  
日米共同訓練フォレストライト 02 の中止を求める申し入れ

沖縄県に駐留する米軍機の重大な事故が続発しています。この1年余だけでも2016年12月、名護市安部にオスプレイが墜落大破、17年8月にはオーストラリアでオスプレイが墜落(乗員3人が死亡)、10月11日、東村高江で米軍ヘリCH53Eが大破炎上、12月7日、宜野湾市の保育園の屋上に米軍ヘリCH53Eの部品が落下、12月13日、普天間第二小学校校庭に米軍ヘリCH53Eの窓枠が落下(児童1人が軽傷)、今年1月にも6日、米軍ヘリUHIがうるま市伊計島に不時着、8日にも米軍ヘリAHI読谷村に不時着するなど米軍機の事故は20件以上発生しています。沖縄県民の生命が脅かされる異常な事態です。沖縄県は9日、「県内の米軍基地に所属する全機体の緊急総点検とその間の飛行中止」を求めました。

重大なことは、事故を起こしているのがオスプレイを始め多機種の米軍ヘリに及び沖縄県全域で重大事故が続発していることです。これらの米軍機は沖縄県内はもとより、国内で実施されている日米共同訓練に参加するなど国内全土で飛行しています。

米軍機による事故が続発する中で、在沖米海兵隊と陸上自衛隊東北方面隊による日米共同訓練フォレストライト02が1~3月の間に実施されようとしています。在日米軍と政府・防衛省に対し、沖縄駐留の米軍機事故の続発に抗議し、日米共同訓練の中止を求めるよう下記の通り申し入れます。

記

- 1、沖縄に駐留する米軍機の事故続発に抗議し、全機体の緊急総点検を求めるとともに、その間の飛行中止を求めること。
- 2、墜落事故など重大事故が続いているオスプレイの飛行中止を求めること。
- 3、沖縄に駐留する米海兵隊との日米共同訓練フォレストライト02の中止を求めること。
- 4、重大事故の調査もできず、住宅地や学校の上空を自由に飛行するなど異常な治外法権を許す日米地位協定の抜本的な見直しを求めること。

以 上